



2015年度 聖句

「何事も愛をもって
行いなさい」

(コリントの信徒への手紙
—第16章14節)

Facebookページ開設中！『いいね！』を押してください

—CONTENTS—

izumi TOPICS

◆和泉の学生生活	2
◆実習を通して	3
◆卒業生の活躍	5
◆2014年度決算書・2015年度予算書 概要	6~7



保育園で実習をして子どもたちの想像力に驚かされました。そしてそこから学ぶことがたくさんありました。大人になつた今では考え方がないようなことを子どもたちは考えていて、とても興味深かったです。

また、たくさんの保育者を見て学ぶことができたので、自分にあった保育の仕方を考えるきっかけになりました。自分なりたいと思う保育者になれるよう次回の実習でも学びを深めていきたいです。



古和友絵
(児童福祉学科2年)
都立柏江高等学校出身

実習を通して

私は障がい者支援施設に行つきました。今まで障がいを持つ方との関わり、特に大人の方と関わる機会があまりなかつたので、初めはコミュニケーションを上手に取ることができるのかとても不安でしたが、日々実習生として利用者さんと一緒に作業させて頂くうちに、少しずつ話すことができるようになります。また目線を合わせたり、笑顔などの表情やハイタッチ等を行うことで、話すことだけがコミュニケーションではないうことに改めて気付くことができました。この経験は子どもとの関わりでもとても大切なものであると感じました。この学びを今後も大切にしたいです。



幼稚園実習を通して、子どもの主体性を大切にした保育のあり方を学びました。実習園は自由保育を行っており、興味関心を持つて遊びへ入る等、主体的に活動する子どもたちの姿が見られました。その姿を通して、第一に安全に配慮した環境を整える重要性を知りました。その中で子どもの考え方を受け止めたり、自ら解決しようとする姿を見守つたりと様々な保育者の関わりを知り、主体性を大切にすることは子どもたちの力を信じることができます。実習を通して学んだことを今後に活かせるよう、自分自身と向き合いながら学校での学びを取り組んでいきたいと思います。



特別養護老人ホームで実習を行いました。職員の方が「～してくれて、ありがとうございます」とうね」と声掛けし、利用者の方へ尊敬する気持ちが伝わり、笑顔が絶えませんでした。人は認められる自信になり、やる気が出て生きる意欲に繋がると感じました。私は人のお手伝いをして役に立った喜びがやる気に繋がりました。

利用者の方は人生の大生輩です。「親を大事にすることのよ」等と色々教えて下さいました。また、職員の方から「独りで抱え込み、泣め付けず、必ず誰かに話す事」と助言を受けました。

人は独りでは生きていけません。支えあって生きがえられていると思います。今後も協力し合い、相手を思ってくれていると思います。今後やる心の目を大切にし、学びを深めていきたいと思いま



聖書のことば

キャラブレン
伊藤忠彦
特任教授



「あなたのパンを水に浮かべて流すがよい、月日がたつてから、それを見いだすだろう」

教育、また福祉の仕事はその成果、その実を直ちに手にできる仕事ではありません。春に蒔いた種を、秋には必ず実り、収穫できるというものではないのです。多くの日が後に、あなたはそれを目にし、手にすることができるのです。

讃美歌536で「報いを望まで人に与えよ、こは主の賢きみ旨ならずや、水の上に落ちて流れし種も、いざこの岸に生いたつものを。」と歌われています。

古川 来夢（児童短歌）



和泉に入学して3ヶ月が経ちました。入学当初は、高校生活と全く違う事が多かった。いことに不安ばかり感じています。授業が90分と高校と比べて長くなつたので、最初は集中力を保つことが出来ず大変でした。しかし月日が経つにつれ慣れてきました。また、何もかも

科1年 都立町田総合高等学校出身
自分でやらなければならぬ事に戸惑いと焦りも感じていまして、たが、やらなければならぬ、という気持ちで頑張つて取り組んでいます。私は学校生活慣れ始めてからバスケットサーカルに入りました。サークルは基本的に自分の好きな時間に参加できるため、勉強とサークルをうまく両立する事ができ、とても楽しいです。今は、毎日楽しく過ごしています。

「どうだ」と誘惑したと聖書にあるほどです。

(マタイ4章3節)

オープニングキャンパスのときに聞
き、自分もここで学び充実した
生活を送りたいと思い、和泉を
選びました。

以前から私は子どもの笑顔が
大好きで、無邪気に笑う子ども
の笑顔が近くで見られる職に就
きたいと思っていました。加え
て、2歳になった姪の世話をし
ていた時に会う度に成長の変化

が見られ、見ていて凄く面白い
と思ったのがきっかけで、保育
の道に進むことを決めました。
和泉に入つてからは本当に忙
しく、特に課題の多さに驚いて
います。次々と新しい課題が出
されるので、課題提出に追われ
る毎日です。1日24時間だけでは
は足りないと感じながらも、周
りのみんなが頑張っている姿に
も刺激を受けて頑張ろうと思え
ます。また「明日も早いんでしょ
う?」と私を気遣ってくれる家
族の存在も支えになっています
。今頑張っていることが自分
の将来に繋がると思い、努力す
る日々です。向上心を高めてく
れる場にいることで、入学当初
よりも保育への思いが強くなり
ました。

和泉の学生生活



加藤 咲彩（児童福祉学科1年 県立大和西高等学校出身）

2014年度決算書概要説明

安定した財政状態

2015年5月23日(土)開催の理事会、評議員会で2014年度決算が承認されました。

2014年度決算の概要を説明いたします。学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を表す「資金収支計算書」、経営状態を表す「消費収支計算書」、財政の安全性を表す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成しています。

資金収支計算書は、2014年度中の全ての資金の流れを表示した計算書です。資金収入計は1,124,128千円です。これに対し、資金支出計は、949,771千円です。

2014年度末支払資金(現金預金)は2,037,843千円で、前年度末支払資金(現金預金)に比べ**174,357千円増加(資金収支差額)**しました。

消費収支計算書は、当該年度の収入及び支出の経費の均衡状態を表すことを目的にしています。

収入の部は、「事業収入」以外は予算額を超過しました。**帰属収入合計は、752,919千円です。**帰属収入の約88%を学納金に依存しているため、学生数の減少は、本学の運営に甚大な影響を及ぼすことになります。帰属収入は、学校法人の純資産を増加させる収入です。この帰属収入から第1号基本金対象資産として取替更新した建物、機器備品13,920千円と第3号基本金506千円の基本金組入れを行ったことにより、消費収入の部合計は、738,493千円でした。

支出の部は、支出の大半を占める人件費は、375,093千円で帰属収入に対する人件費比率は、49.8%になりました。教育研究経費は、197,030千円です。教育研究活動に要する経費全般について効率的な支出に努めました。管理経費は、106,488千円です。法人業務及び管理部門の維持管理運営費の効率的、効果的な支出を図り、経費削減に努めました。

消費収入の部合計738,493千円から消費支出の部合計682,652千円を控除した**消費収支差額**は、**55,841千円収入超過**となりました。また、帰属収入合計752,919千円から消費支出の部合計を控除した**帰属収支差額**は、**70,267千円収入超過**でした。

昨年度は5号館売却により、資産処分差額が発生し、初めて帰属収支差額が支出超過になりましたが2014年度は収入超過に回復しました。

貸借対照表は、2014年度末における当法人の資産、負債、基本金、消費収支差額の状態を示すものです。減価償却対象資産(建物、構築物、機器備品等)については、取得価額から減価償却累計額等を控除した金額で表しています。資産の部合計は、8,574,031千円です。退職給与引当金と前受金が大部分を占める負債の部合計466,170千円を控除した純資産総額は8,107,861千円で前年度に比べ70,267千円増加しました。

2015年度予算書概要説明

2015年度に学校法人会計基準改正が施行され、計算書類の予算書は、資金収支予算書と事業活動収支予算書を作成することになります。

資金収支予算書の資金収入合計は、810,359千円、資金支出合計は902,067千円です。

資金収支差額は、91,708千円支出超過になる見込みです。

事業活動収支予算書は、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の3つに区分され、区分ごとに収支差額を求めます。事業活動収入合計は717,502千円です。基本金組入前当年度収支差額は66,279千円支出超過です。基本金組入額は、第3号基本金として、基金による運用結果(利息)から奨学事業経費を控除した残額585千円組み入れを行います。

第1号基本金は、対象資産である土地、構築物等の除却等による取り崩しを行うため、基本金取崩額に16,999千円を計上します。

事業活動支出合計は753,781千円です。2015年度線越収支差額(旧消費収支差額)は、66,864千円支出超過になり、基本金組入前当年度収支差額(旧帰属収支差額)は66,279千円の支出超過になる見込みです。

今後の和泉短期大学の財政見通しについて

少子化による18歳人口の減少、保育者養成校の増加、入学定員の厳格化等、本学を取り巻く経営環境は年々厳しさを増しています。また、2014年度は私立大学の約46%(265校)、短期大学の65%(207校)が入学定員割れという状況にあります。

本学は、帰属収入の約88%を学納金に依存している現状において、入学者の定員確保、離学者の防止をしていかなければなりません。2015年度は、外部資金等の導入による経営戦略として、文部科学省の競争的資源配分の獲得に向け、教育の質の向上を図るため、アクティブ・ラーニング室の整備を行います。

相模原市に移転後39年が経過し、校舎等の修繕工事計画及び教育研究活動の維持向上を図りながら、経費の削減をはじめとした経営の効率化とのバランスを保ち、一層の財政基盤の強化を図って参ります。

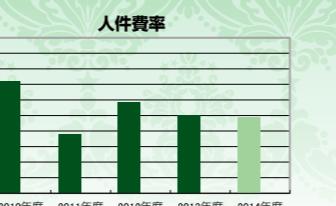
深町正信理事長による2015年度「学校法人和泉短期大学の基本構想」は、次の4つ柱「1.2号館外壁塗装、館内共用部ピータイル取替修繕工事2.アクティブ・ラーニング室整備、3.キャンパスの集約、4.給付型奨学金・学生顕彰制度の充実と実施。」をもとに事業展開を致します。

年々厳しさを増している状況下において、本学の教育環境を整備充実していくには、将来にわたり支出要因が多いいため、2015年度も募金活動を行い、さらなる発展を目指して今後も「出るを制して、入るを計る」ことを原則として業務改善に取り組み、一層の合理的・効率的な支出を行い、資金の有効活用に努めます。

建学の精神「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」と、スクールモットー「愛と奉仕」に基づいた特色のある教育の展開により、学生にとって居心地の良い明るいキャンパス、地元密着型、実力養成型の短期大学を目指して教職員、法人関係者一体となって努力して参ります。

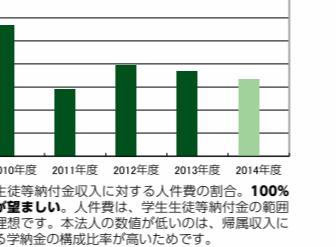
事務局長 土橋 正文

消費収支計算書の財務比率推移(グラフ)と説明



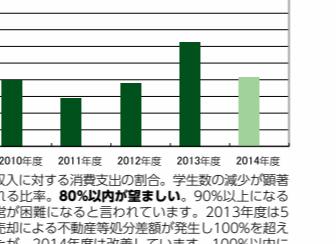
帰属収入に対する人件費の割合です。50%以内が望ましい。人件費は、消費支出の中でも最大の比重を占める支出です。人件費が膨らんでいくと収支状況の悪化を招きやすい。直近2年間は安定して推移しています。学生数の減少は、比率の上昇を意味します。

人件費依存率



学生生徒等納付金収入に対する人件費の割合です。100%以内が望ましい。人件費は、学生生徒等納付金の範囲内が理想です。本法人の数値が低いのは、帰属収入に占める学納金の構成比率が高いためです。

消費支出比率



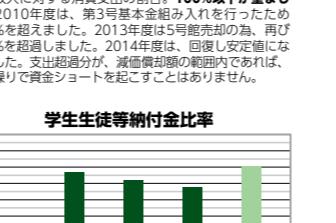
帰属収入に対する消費支出の割合。学生数の減少が顧客に対する比率。80%以内が望ましい。90%以上になると経営が困難になると言われています。2013年度は5号館売却による不動産等処分差額が発生し100%を超えましたが、2014年度は改善しています。100%以内に抑えないと施設設備の整備が出来なくなります。

帰属収支差額比率



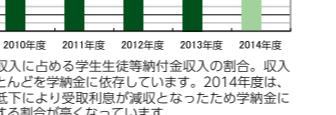
帰属収入から消費支出を引いた差額の帰属収入に対する割合。法人の純利益を表す重要な財務比率です。比率がプラスになると自己資金が充実されていることを意味します。プラスから将来の施設設備の取替更新を行います。マイナスからも継続して行くと経営は窮屈し、資金が枯渇します。2013年度は不動産処分差額発生により、マイナスになりました。2014年度は改善し、ほぼ目標に達しています。

消費収支比率



消費収入に対する消費支出の割合。100%以下が望ましい。2010年度は、第3号基本金組入れを行ったため140%を超えました。2013年度は5号館売却の為、再び100%を超えていました。2014年度は、回復し安定値になりました。支出超過分が、減価償却額の範囲内であれば、資金繰りで資金ショートを起さることはありません。

学生生徒等納付金比率



帰属収入に占める学生生徒等納付金収入の割合。収入のほとんどを学納金に依存しています。2014年度は、金利低下により受取利息が減収となつたため学納金に依存する割合が高くなっています。

2014年度 消費収支計算書(決算概要)(単位:千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科 目	決算額	科 目	決算額
学生生徒等納付金	663,136	人件費	375,093
手数料	11,241	教育研究経費	197,030
寄付金	1,337	(減価償却額)	(61,139)
補助金	58,750	管理経費	106,488
国庫補助金	58,653	(減価償却額)	(6,568)
地方公共団体補助金	97	資産処分差額	4,041
資産運用収入	13,315	[予備費]	
事業収入	916	消費支出の部合計	682,652
雑収入	4,224	当年度消費収入超過額	55,841
帰属収入合計	752,919	前年度消費収入超過額	2,684,616
基本金組入額合計	△ 14,426	翌年度消費収入超過額	2,740,457
消費収入の部合計	738,493	帰属収支差額	70,267

2015年度 事業活動収支計算書(予算概要)(単位:千円)

事業活動収入の部	科 目	予算額	教育活動外収支	科 目	予算額
	教育活動外収支	事業活動外収支		事業活動外支出	予算額
教育活動収支	学生生徒等納付金	624,700	受取利息・配当金	9,000	
	手数料	8,490	教育活動外収入計	9,000	
事業活動支出の部	寄付金	500	教育活動外支出計	0	
	経常費等補助金	40,100	教育活動外収支差額	(9,000)	
教育活動支出の部	付随事業収入	3,223	経常収支差額	(△ 13,160)	
	人件費	420,809	その他の特別収入	0	
事業活動支出の部	専任教員給	209,801	特別収入計	0	
	兼任教員給	23,028	資産処分差額	752	
事業活動支出の部	専任教員給	140,364	その他の特別支出	22,367	
	兼任教員給	16,523	特別支出計	23,119	
事業活動支出の部	役員報酬	4,000	[予備費]	30,000	
	退職給引当額	26,347	基本金組入前当年度収支差額	△ 66,279	
事業活動支出の部	退職金	746	基本金組入額合計	△ 585	
	教育研究費	201,785	当年度収支差額	△ 66,8	

2015年度「教育環境充実資金」募金のお願い

和泉短期大学では、教育の充実を図り、施設維持整備を目的に新入生のご家族、同窓生を対象に「教育環境充実資金」へ募金の協力をお願いしております。任意ではございますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●募金対象事業

- 1)施設・教育設備の整備[アクティブ・ラーニング室整備、2号館(研究棟)
外壁塗装工事他、教室プロジェクター設置]
 - 2)震災・災害対策
 - 3)その他
- 設置費用 10,000,000円

寄付者一覧(敬称略)<2015年4月1日~6月30日>

井狩 芳子/池田 吉広/井上 宏一/碓井 一成/内田 晋也/長田 清/小澤 義人/掛川 満/加藤 大典/岸田 俊邦/北原 歌子/小泉 勝嗣/小塚 花李/佐伯 達哉/佐藤 薫美/佐藤 守男/品川 秀樹/清水 峰明/鈴木 誠/長谷川 学/深町 正信・順子/藤田 直明/横井 直美

●募金期間 2015年6月~2016年3月

●寄付金額 一口5,000円

●募金担当

和泉短期大学『経理・施設ユニット』[042-754-1133]

ご寄付をいただきました皆様方に心から感謝申し上げます。2015年度の募金につきまして、寄付者ご芳名をまとめさせて頂きました。なお、法人事務局が受理いたしました日付で処理を致しております。多少のずれが生じている方もあるかと存じますが、何卒ご了承をお願いいたします。

法人事務局

専門実践教育訓練給付金（専攻科 介護福祉専攻）

<教育訓練給付制度とは>

- ・厚生労働省による、働く方のスキルアップを支援し、雇用の安定、再就職の促進を図ることを目的とした制度です。
- ・一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者(在職者)または一般被保険者であった方(離職者)が、専攻科介護福祉専攻に入学し介護福祉士資格を取得した場合、本人が卒業までに実際に支払った学費(入学金、授業料)の40%(上限年48万円)が給付されます。
- ・支給対象者は、入学までに通算して2年以上の雇用保険の被保険者期間を有している方です。

給付金 受給まで の流れ

2016年2月末日まで

ハローワークにて相談・申請
必要書類の提出(ご自身で行う必要があります)

在学中

半年毎にハローワークへ 申請⇒給付※

※ 2016年10月に約 28万円

2017年4月に約 4万円が支給されます。

卒業(資格取得)・就職

本学で介護福祉士取得後1年以内に就職した場合

申請⇒追加給付※

※ハローワークから 16万円が
追加支給されます

詳細は和泉短期大学ホームページをご覧ください。

問い合わせ先 和泉短期大学 広報渉外ユニット 042-754-1133

第49回 いづみ祭

10月24日・25日に第49回「いづみ祭」を開催します。本年度のテーマは、「あそぼう！いづみのおもちゃ箱」です。子どもたちが遊べるような保育ブースの出展、各グループが一致団結して歌い上げる見事な合唱と歌に合わせたパフォーマンスのサウンドコンテスト、高校生向けの入試直前個別相談会、昨年大好評の健康測定コーナーなどイベントが盛りたくさんです。熱気と感動に包まれるいづみ祭にぜひお越しください。

<昨年度の様子>



夏期休業期間中の改修工事のお知らせ

夏期休業期間中(8月1日~30日)に下記の通り改修工事を実施します。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

1号館

- 1.外壁 漏水対策工事
- 2.西側階段 防火戸自動閉鎖装置及び連動制御盤設置工事

4号館

- 6.消防配管漏水修繕工事

2号館

- 3.外壁塗装改修工事、外壁防水改修工事及び鉄部塗装工事
- 4.共用廊下及び階段 Pタイル張替工事

1号館及び2号館

- 7.衛生配管劣化診断

3号館

- 5.外階段 手摺取付工事

担当：施設ユニット